

年末年始特集 主なおすすめ番組



総合テレビ

チョコちゃんに叱られる！年末拡大スペシャル



12月21日（金）後7：30～8：42

人気急上昇の「チョコちゃんに叱られる!」が年末スペシャルとして拡大版 72 分で登場する。チョコちゃんが繰り出す素朴な疑問も「クリスマスイブのイブって何?」や「お餅とおだんごの違いって何?」など、年末ならではのものから、「歌うときに、マイクを持たない手を動かすのはなぜ?」「アイドルって何?」といったいつものように意外で多彩なものまでさまざま。トイレットペーパーに関する疑問では、好評の「多分こうだったんじゃないか劇場」が登場、おなじみの鶴見辰吾さんが会社社長にふんする。ゲストは、にぎやかな俳優の陣内孝則さん、かわいらしい高橋ひとみさん、悔しがる河北麻友子さんの豪華な 3 人。意外な疑問にたじたじになってチョコちゃんに叱られるだけでなく、拡大版名物の「チョコの部屋」では、1 対 1 でじっくりチョコちゃんに責められる。クリスマスに年末、年はじめ、家族でチョコちゃんが話題になること間違いなし。

M C：岡村隆史、チョコ（声：木村祐一） リポート：塚原愛アナウンサー
ゲスト：陣内孝則、高橋ひとみ、河北麻友子
ナレーション：森田美由紀アナウンサー

シリーズ 私たちと天皇皇后両陛下（全4回）

【第1回】12月23日（日・祝）後7：30～8：43

【第2回】12月24日（月・振休）後7：30～8：43



平成 31 年 4 月 30 日、天皇陛下は退位され、「平成」が幕を下ろす。昭和 8 年生まれの天皇陛下と、翌 9 年生まれの皇后さま。両陛下はともに、敗戦、戦後の高度成長を経て平成へと連なる、激動する日本社会と向き合われてきた。そして、憲法に定められた「象徴」のあるべき姿や、現代にふさわしい皇室について、模索を続けられた。番組では天皇皇后両陛下の足跡を、NHK 皇室取材班による発掘秘話、NHK や海外に保管されている貴重な皇室映像、そして両陛下ゆかりの方々の証言や資料などから振り返り、「私たち日本人にとって両陛下はどのような存在なのか」を、4 回シリーズで伝えていく。年末に放送する第 1 回・第 2 回では天皇陛下の出生から日本中を熱狂させたご結婚、皇太子・皇太子妃としての活動までを描いていく。

天空のスペクタクル

～百花繚乱(りょうらん) オーロラ・ワールド～



12月25日（火）後7：30～8：42

一生に一度は見てみたい!神秘の光オーロラ。その四季それぞれの魅力を伝える番組。舞台はオーロラが毎日のように見られるというカナダ・イエローナイフ。春は樹氷を覆うオーロラのカーテン、初夏は色とりどりの光が湖面に映る。秋には満月に輝くオーロラのドローン撮影に成功。冬、凍りついた巨大滝の真上でオーロラ大爆発が!

オーロラ写真家・田中雅美さんだけが知る、とっておきの場所で撮った 360 度映像は、驚きの連続、一年かけたからこそ撮れた大自然とオーロラの共演だ。オーロラに寄り添って生きる人々の感動の物語も紹介する。家族みんなで見て楽しめる、クリスマスの夜に送るとっておきの時間。司会はサンドウィッチマン。

もう1人の私に会いたい!



12月28日(金) 後7:30~8:43

「世界には自分に似ている顔が3人いる」と言われるが、あなたは自分のそっくりさんと会ったことはある…?この番組は、日本の有名人が海外にいるであろう自分のそっくりさんに会いにいき、初めて出会う2人にどんなドラマが生まれるかをみていく、異色のドキュメントバラエティー。お相手探しの手がかりになるのが、海外の「そっくりさん検索サイト」。ここを利用して、世界中で500組ほどの人たちが感動的な出会いを体験したという。今回、お相手を探すのは若者に人気の本田翼さんと加藤諒さん。果たして、2人のそっくりさんは見つかるか?“もう1人の私”はどんな国でどのような生活を送っているのだろうか?わくわくドキドキの旅にいざ出発!

MC: 渡辺直美 澤部佑

NHKスペシャル

「平成ラストフライト~日本はどこに向かうのか~」



1月1日(火・祝) 後9:00~10:00

平成最後の年を迎える日本は、これからどこに向かおうとしているのか。その「未来」を読み解く鍵となるのが、首都・東京で進む、終戦直後、高度成長期に続く、戦後3度目の「大改造」だ。前回オリンピックに向けた開発は、右肩上りの成長を体現する強引なものだったが、今回は「人間のための開発」を目指している。キーワードは「持続可能性」「災害対策」「効率化」。先進国のトップを切って少子高齢化・人口減少を迎え、“下り坂”の中で行われる東京の“大変貌”は、これから先を見すえた“社会実験”でもある。2019年元日。番組では、ドローンなどを駆使し、空から「東京の変貌」を体感し、多彩なゲストがトークを行う。同時に、「人の生き方」「価値観」がどう変わっていくか、膨大な「個人のスマホの映像」を収集し、有識者らとともに探っていく。平成の最後の年、東京の空から、日本の未来を展望する“未来紀行”番組をお届けする!

正月時代劇「家康、江戸を建てる」

(前編) 水を制す 1月2日(水) 後9:00~10:15

(後編) 金貨の町 1月3日(木) 後9:00~10:15



直木賞作家・門井慶喜の歴史小説初のドラマ化。歴史小説として17万部という近年にない売り上げを記録している「家康、江戸を建てる」は、一代で大都市・江戸を築いた徳川家康と、彼の夢に半生を賭けた無名の男たちの感動の物語である。家康は優れた都市プランナーであり、偉大なドリーマーであった。その両面があったからこそ、各部門を家康に

託された男たちはしゃにむに、江戸づくりに打ち込み、不可能を可能にしていた。

前編「水を制す」の主人公・大久保藤五郎(佐々木蔵之介)は、家康(市村正親)のため、菓子を作り続けていた男。そんな大久保が家康に江戸中に飲み水を行きわたらせよと命じられる。埋立地であった江戸の井戸の水はしょっぱくて飲めなかったのだ。大久保は、現在の井之頭池から江戸城まで上水をひき、江戸中に人が住めるようにした。後編「金貨の町」の主人公・橋本庄三郎(柄本佑)は、秀吉が支配する京阪経済圏からの独立を目指す家康に命ぜられ、装飾品でない流通する金貨を世界で初めて作り、江戸を巨大経済都市にしていく。脚本は八津弘幸(「半沢直樹」「陸王」など執筆)。「働く男たち」を描けば当代随一の人気作家。

ほかの出演者は、前編は、生瀬勝久、優香、千葉雄大、マギー、高嶋政伸、松重豊ほか。後編は、広瀬アリス、林遣都、伊原六花、高橋和也、吹越満、吉田鋼太郎ほか。

第9 ナイン・ストーリーズ

12月31日(月) 後7:00~7:55

2018年は、日本で初めてベートーベンの「第9」が全曲演奏されてから100年を迎える。今や、年の瀬の風物詩となっている「第9」は、プロ・アマを問わず12月だけで100以上の演奏会が日本各地で行われる。そもそも、なぜ日本人は12月に「第9」を歌いたがるのか?聴覚が衰える中ベートーベンはどうやって最後の交響曲を生み出したのか?など、「第9」にまつわる、知ってそうで知らないエピソードを、9つの物語に構成し、オムニバスで紹介。ベートーベンの足跡が数多く残るウィーンを訪ね、ベートーベンの人柄や初演時のエピソードを交えて、楽曲に隠されたベートーベンの深いメッセージも徹底解剖。またアジアでの「第9」全曲初演の地である徳島県を訪ね、初演を行ったふ慮収容所関係者たちと日本人をつないだ感動秘話を紹介する。大みそか恒例のN響「第9」演奏会の放送直前にお送りする、初心者でも「第9」を100倍楽しめる音楽エデュテイメント番組である。

知恵泉スペシャル

「改元~ようこそ新元号・大転換期を生き抜く知恵~」

1月1日(火・祝) 後10:00~11:00



橋本大二郎



石田衣良



川田裕美

2019年は、大きな歴史的行事を控えている年である。「改元」だ。古代、中国から伝わり、ベトナムや朝鮮半島でも使っていたという“元号”だが、現在に至るまで使用してきたのは日本だけ。その間、およそ1400年にわたり、元号は 歴史の営みの中に常にあり、日本の文化を培ってきた。“日本”という国を振り返るとき、切っても切れないもの。それが“元号”だともいえる。元号が一世代となったのは150年ほど前の「明治」から。以前は折々に触れ、元号は改められてきた。その数「平成」まで実に247。そこには、良きことを期待し、悪しきことをリセットしてさまざまな時代の荒波を乗り越えてきた、先人たちの知恵がある。

「平成」最後の元日の夜、歴史居酒屋“知恵泉”は、特別メニューを準備して開店する。いつものカウンターから“改元”にまつわる知恵の物語を肴に、どうぞ御一献あれ。

【出演】橋本大二郎(ジャーナリスト・「昭和」から「平成」の移り変わりを連日テレビで伝えた)ほか

平成ネット史



(前編) 1月2日(水) 後11:30~深夜0:30

(後編) 1月3日(木) 後11:00~深夜0:00

「Windows95」の発売から、わずか20余年。まるで“魔法”のように世界を繋げ、生活に欠かせないものとなった「インターネット」。「テキストサイト」や「2ちゃんねる」から、「着メロ」「写メール」、そして「フェイクニュース」まで、平成の終わりに、その時代に

活躍した多彩なゲストをスタジオに迎え日本のネット史をひもとく。前編は、ネットで『つながった』PCそして携帯の変遷を、当時の映像や一世をふうびした人物のインタビューとともに振り返る。後編は、ガラケーを駆逐したスマートフォン、そしてSNSの登場により、いつでも『つながった』わたしたちの変化とは何だったかを振り返るとともに、平成の次にやってくるネットが作り出す未来について検証する。

司会：恵俊彰、NHK アナウンサー

専門家ゲスト：宇野常寛・落合陽一・堀江貴文・森永真弓

ゲスト：池田美優・ヒャダイン・真鍋かをり (五十音順)

BS1スペシャル ヒグマを叱る男～世界自然遺産・知床～

12月24日（月・振休）後10:00～10:50



世界のヒグマ研究者が“奇跡だ”と驚く秘境がある。2005年に世界自然遺産に登録された知床半島にある、ルシャと呼ばれる地域。ここに番屋と呼ばれる作業小屋に泊まり込む14人の漁師と、50頭程のヒグマが、54年間“共存”してきた。朝、漁師たちを港で待っているのは、おこぼれにありつこうと寄ってくるヒグマ。昼、浜で網を繕うと、ヒグマの親子がすぐ脇を通る。夜、入浴する漁師をヒグマがのぞく。漁師たちは冷静。銃を持ち出すことはない。ただ、近づき過ぎると「コラ、向こうへ行け」となるだけだ。この半世紀、ヒグマに襲われてケガをした漁師はひとりもないという。人は自然とどう向き合えばよいのか考えたい。

COOL JAPAN 新春スペシャル

世界が驚いたニッポン！ 2019



※前回のスペシャルの様子

1月1日（火・祝）後7:00～8:50

2020年東京オリンピックまであと1年ますます世界から注目を集める日本。今や訪日外国人の6割以上が2回以上のリピーター。しかも、リピーターの間で増えているのが「地方訪問率」。買い物ではない日本の「文化」や「暮らし」、「習慣」に世界の関心が向いていることがわかる。そんな世界の人びとの「日本への意外な関心」を紹介するのが「COOL JAPAN 新春スペシャル」。SNSに投稿される日本の文化を紹介する動画。その再生数が100万回を超えるモノを集めてランキング。日本人にとって当たり前に見える暮らしや習慣を映した動画が、なぜ世界でウケるのか。それを日本在住外国人50人がスタジオで討論する“世界にウケるニッポン再発見番組”2019年はさらにパワーアップ！50人の外国人が理解できない日本文化、Not Coolを自ら撮影して紹介。MC 鴻上やご意見番の作家・荒俣宏、ゲストと熱い議論を戦わせる！

BS1スペシャル 欲望の資本主義2019

～ゴールなき時代の自由論～



1月3日（木）後9:00～10:50

GAF（＝グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン）をめぐる議論がかまびすしい。「ネット界の四天王」は、国家レベルを超える巨大な資金を動かし、情報を握り、社会の形を変えつつある。国民国家の枠組みを前提とした市場経済が揺れている。資本主義は一体どこへ行くのか？今につながる大きな転機は80年代のレーガン/サッチャー時代。規制緩和、減税…自由を旗印にした大きな政府から小さな政府への転換。旗振り役のサッチャーにはバイブルがあった。フリードリヒ・ハイエクによる、『自由への意志』。ハイエクはあのケインズと双璧をなす20世紀を代表する経済学者。ハイエクが思い描いた自由の本質とは？大反響の異色経済ドキュメント3年目。切迫感ある今こそ問う、「自由」の形と資本主義社会の行く末とは？

スーパープレミアム

「医師の闘病から読み解く がんを生きる新常識パートⅡ」



12月8日(土) 後9:00~11:30

自らも、がんにかかった医師たちがスタジオに集まり、医療から暮らしまで、さまざまな問題について議論する『がんを生きる新常識』第2弾! 「がんを早期発見するには?」、「治療法はどう選ぶ?」、「生活はどうやって守る?」…。がんを克服した医師、闘病中の医師それぞれの体験を振り返りながら、検診、治療、日常生活に至るまで、本当に役立つ情報やヒントを教えてください。司会は坂上忍さんと高橋真麻さん。がんを経験した医師6人に、あらゆる疑問をぶつけながら、繰り広げる2時間半の本音トーク! 2人に1人ががんになる時代。がんになっている人も、なっていない人も、知っておきたい、知っておくべき新常識を紹介する。

菅田将暉TV



12月15日(土) 後9:00~10:00

誰もが知るあの人が、“本当にやりたいこと”に挑戦する新感覚ドキュメント。今回は、あの菅田将暉が、大好きだというアメリカの「コメディドラマ」を一から自分でプロデュースする。企画原案に始まり、美術セット、そして衣装など、すみずみにまでこだわった菅田オリジナルの「コメディドラマ」。出演者は自分以外すべて外国人、英語も苦手な菅田は、身振り手振りで彼らを演出し、抱腹絶倒のコメディを作り上げていく。ときに頭をかきむしり、ときにスタッフを笑わせる、そんな普段見ることのない“素颜”の菅田将暉がいっぱいのメイキング映像もたっぷりお届け!

見上げればあなたはいつもそこに

～祝還暦・拝啓 東京タワー様～



12月22日(土) 後9:00~10:30

今年12月23日、東京タワーは還暦を迎える。1958年に完成して以来、高度経済成長、バブルとその崩壊、東日本大震災と激しい時代のうねりをくぐり抜け、巨大都市の真ん中で数え切れない人生と出会ってきた60年。心揺さぶるヒューマンドキュメントと極上のエンターテインメントで、東京タワーに日本人が寄せてきた思いを描き出す。芸人、そして芥川賞作家の又吉直樹は東京タワーをネタにした新作コントを発表、鉄拳がパラパラ漫画で描くのは戦後を生きたある家族の物語、さらに東京タワーに熱いまなざしを注ぐあの大スターも登場!?

クリスマスを前に街がイルミネーションに彩られるなか、今夜はひとときわ東京タワーが美しく見える…。

ラジオ

ラジオ第1

冬休み子ども科学電話相談

12月24日(月・振休)～28日(金) 前8:05～11:50 (ニュース中断あり)

1月2日(水)、3日(木) 後2:15～6:50 (ニュース中断あり)

4日(金) 後2:05～6:00 (ニュース中断あり)



「宇宙人は悪者なの?優しいの?」「時計はなぜ右回りなの?」「どうしてパンツをはかなくてはいけないの?」子どもの抱く素朴で鋭い質問と、それに全力で答える先生方のやりとりが思わず微笑を誘う。1984年から始まり、今年で35年目となる夏休みの名物番組が去年から冬休みにも進出。近年はツイッター等で盛り上がり、らじる★らじるの聴き逃しサービスでは再生回数1日に2万回超。今年の夏休みに開設された番組公式まとめサイトのアクセス率も好調。いまや世代を超えて楽しめる名物番組となっている。子どもに抱いた「なぜ」を思い出すためにも、冬休みの帰省の車中で、家族そろってこたつの中で、はたまた寝正月のふとんにくるまって、お楽しみいただく。

出演：夏休みおなじみの動物・植物・昆虫・恐竜・水中生物・鳥・宇宙・科学などの専門家の先生

司会：石山智恵キャスター(24日～26日) 山田敦子アナウンサー(27日～28日)

藤井彩子アナウンサー(1月2日～4日)

アンガールズの優しい気持ちになれるラジオ

1月1日(火・祝) 後7:20～8:55 (ニュース中断あり)

「平成最後の元旦」の夜、笑いとうしさに満ちあふれた新しいラジオバラエティーが登場する。メインパーソナリティーは、にじみ出る人柄の良さで活躍を続ける人気お笑いコンビ、アンガールズ。彼らが「優しくしてあげたい」ゲストを招き、優しくエピソードトークを繰り広げるほか、ネット上で共感を集める「優しい気持ちになれるつぶやき」を紹介するコーナーや「優しい気持ちになれるコント」「優しい気持ちになれる体操」コーナーなど、盛りだくさんの85分。

ちょっとしたことですぐ「炎上」したり、些細な事から大きなトラブルに発展したりする、他者に不寛容なこの時代。聴く人が笑顔で「なんだか優しい気持ち」になれる、心地よい時間をお届けする。

【パーソナリティー】アンガールズ(田中卓志 山根良顕)

歌舞伎まるごとストーリー「あらすじえもん」

1月2日（水）～3日（木）深夜0：00～0：50

江戸時代に生まれ庶民に親しまれてきた歌舞伎は、現代に通じる普遍的な男女の愛憎や日本人が培ってきた精神、そしてファンタジーに満ちあふれているが、長大なために劇場では一部分しか上演されず、物語の全体像を把握しにくい。その物語を凝縮し、現代の言葉・原作と異なるシチュエーションに再構成したラジオドラマが、歌舞伎まるごとストーリー「あらすじえもん」。

第1夜 青砥稿花紅彩画（あおとぞうしはなのにしきえ）（通称：弁天娘女男白浪（べんてんむすめめおのしらなみ））：元は5人の盗賊が活躍するいわゆる「白浪五人男」。今回は設定を宇宙世界に置き換え。女たらしの色男やサイボーグのリーダーら、奇想天外な登場人物が宇宙の町を荒らし回る。5人組の成立からその活躍、終えんまでを描く。

第2夜 梅雨小袖昔八丈（つゆこそでむかしはちじょう）（通称：髪結新三（かみゆいしんざ））：元は髪結いの小悪党、新三が大店の娘のお熊を誘拐する物語。今回は時代をバブル景気真っ盛りの平成元年（1989年）に設定し、落ちぶれた店の娘をめぐるさまざまな愛憎劇を描く。